

学励コース「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.7 平成26年4月1日

医療業務に携わる人材(看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等)育成のための進学指導を行います。新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学等の進学を目指します。

3月27日 第1回医療専攻発表会

第 部 発表会	13:00~14:40
第 部 ポスターセッション	14:50~16:00

新潟西高医療専攻第1期生の2年間に渡るプログラムのまとめとなる発表会が行われました。学年末考査や学校行事に慌ただしい3学期ですが、生徒はプレゼンソフト使用法の講習、講演会・病院見学の資料の整理とまとめ、発表原稿やポスターの作成、そして発表練習と準備に多くの時間を費やして、この日を迎えました。

アドバイザーに新潟大学医学部保健学科の佐山光子教授をお迎えし、講演会でお世話になった新潟青陵大学池田かよ子教授をはじめ医療系専門学校の先生方、また発表者の保護者、そして入学準備説明会を終えたばかりの新入生とその保護者など、たくさんのお客様でほぼ満席の中、第1部の発表が進みました。



書道部に感謝

第 部 発表会 プログラム



- 1 旭 司(看護師志望)...初めての看護師体験で感じたことや、地域医療の大切さについて
- 2 五十嵐 真衣(看護師志望)...「生と死」について考えさせられた2つの体験と、この体験を今後に生かしていく決意
- 3 市川琉花(看護師志望)...新潟大学医歯学総合病院で見た「ドクターヘリとフライトナース」、すがはら消化器内科クリニックで学んだ「地域を支える病院」

- 4 小熊 涼夏(理学療法士志望)...「ドクターヘリ」の利点と問題点、医療専攻を終えて大切だと思ったこと、今できること
- 5 笠原 玲菜(看護師志望)...新潟県内の医療(ドクターヘリ)について1年間の活動の中で学んだ「看護」について
- 6 加藤 光輝(養護教諭志望)...医療専攻を通して学んだこと、特に印象に残った新潟大学医歯学総合病院の見学、「看護師になるまでの道」と題した講演会について
- 7 木村 彩実(看護師志望)...医療専攻を通して学んだこと、信楽園病院で働いている看護師さんの講演会について
- 8 久住 沙耶(看護師志望)...看護職に興味をもったきっかけと、医療専攻の活動で受けた影響について



メモをとる、聞く側も真剣。

- 9 住吉 雄介（看護師志望）...すがはら消化器内科クリニックの見学から
「医療機器について」「地域医療について」
- 10 滝澤 丈（保健師志望）...地域の医療である診療所やクリニック、と病院との分業によって
多くの患者さんを助けるという今後の地域医療の理想
- 11 田中 美紀（保健師志望）...厚生連新潟医療センターと長岡西病院の見学内容について、
医療従事者にとって大事なことや必要な資質について
- 12 寺澤 大輝（診療放射線技師志望）...新潟医療センターの病院見学について、
放射線技師としての心構えについて
- 13 長沼あれん（看護師志望）...総合病院である新潟大学医歯学総合病院と
地域密着型の白根大通り病院を比較して気づいた点
- 14 中野 千尋（診療放射線技師志望）...診療放射線技師の職域の形成、主な業務、特に印象に
残っている病院見学、講演会で学んだことについて
- 15 中村慎之介（理学療法士志望）...超高齢化社会である現在の日本における様々な問題、
さらに多忙化する医療従事者の今後、そうした中で必要とされること
- 16 藤崎 里彩（看護師志望）...信楽園病院で働く看護師さんについて、
看護師のすばらしさ、学んだこと
- 17 細川 杏香（看護師志望）...医療専攻の活動を通して最も印象に残ったこと、
「命の尊さ」・「医療従事者」をテーマに将来の自分に必要なこと、感じたことについて
- 18 松尾 萌華（看護師志望）...1年間の活動を通して感じた医療の大切さと、
特に印象に残った小児看護と終末期医療について
- 19 丸山智輝（看護師志望）...海外ボランティアとチーム医療とに見つけた共通点、
チーム医療の例について

佐山先生に「同じ体験をしたのに、一人一人違う着眼点と個性が光るプレゼン」「医療に携わる人間としてのアイデンティティと基盤が培われたプログラム」という講評と、「個性、自分らしさとは何かを見つめて、これからもチャレンジを」と励ましの言葉をいただき、第一部を閉じました。

第 部 ポスターセッション



会場を移し、お茶やお菓子も用意された和やかな空気の中、第 部のポスターセッションです。理系大学の卒論発表会とほぼ同様の形式で、それぞれ6枚にまとめたポスターを前に、先生方やアドバイザー・お客様とのディスカッションとなりました。発表の緊張が解けて、笑顔でお話しします。佐山先生も全員に声をかけてくださり、日頃にはかみがちな生徒も堂々と答える姿が印象的でした。

第1期生は、これから看護医療系の学校へ進学するために受験勉強に励むことになり、プログラムは2期生へ、そして今回見学に来てくれた新入生へと引き継がれます。何もないところから始まった西高医療専攻に御協力いただいたすべての病院、そして皆様感謝申し上げます。この経験を礎によりよいプログラムとなるよう努めて参りますので、今後ともよろしく願いいたします。

